

# ワクチンが自閉症を起こすと証明する科学者の証拠を、裁判所が押収

ワクチンにはある汚染物が含まれていることを、科学者が発見

【訳者注】これはあたかも、わかりやすい、植民地時代の残酷物語のシナリオのような話である。しかし、これはイタリアで起こっている現在の出来事だ。イタリアだけでなく、ここで紹介するワクチンの話は、すべてこれに近い、まさかというような話ばかりである。このような汚染ワクチンは、どこで使われているかわからない。事情はわからないが、我々も気をつけるべきだろう。

Daniel Newton, [www.neonnette.com](http://www.neonnette.com)

May 31, 3018



Dr. Gatti, Dr. Montanari  
両博士は、ワクチンにはある種の汚染物質が含まれていることを発見した

現在、その成分表に書かれていない、自閉症を起こす物質が、諸ワクチンに含まれていることを、証明したと言われるイタリアの科学者たちが、警察によって家宅搜索され、裁判所の命令によって、備品や資料を押収された。

科学者のガッティ博士と、モンタナリ博士は、ワクチンには、あってはならない金属の形で

の、ある汚染物質が含まれていることを発見した。彼らは、銅とアルミニウムがワクチン抗原に結びついてできる、危険なたんぱく質集合体を発見したが、主張はそれだけではない。

鉛、ステンレススチール、鉄、などの微粒子や、他の無機物質が、44 のワクチン種のサンプルの中に発見された、とイタリアの国家調査研究評議会、及び、アメリカ浄水研究所の調査が明らかにした。

これらワクチンの適用される病気は、破傷風、ジフテリア、百日咳、B 型肝炎、脊髄性小児まひ、はしか - おたふく風邪 - 風疹、水ぼうそう、それに髄膜炎である。

2 人の科学者は、研究結果を、「ワクチンおよびワクチン接種国際ジャーナル」に報告し、こう述べている：――

「発見された異物と、ある場合には、それらの異なった化学構造が、我々を戸惑わせた。

「発見された無機微粒子は、生体適合性ももたず、自然に分解することもない。ということは、それらが耐久性をもち、何らかの影響が、注射のすぐ後で現れるか、特定の時間をおいて現れることを意味する。」

活動性成分の項目にあげられていなかった「無機的異物」は、すべてのワクチンの中に発見された。

彼らは、すべてのサンプルの中に、鉛、またはステンレススチールの微粒子を発見した。タングステンや、他の鉄からなる生成物も発見された。

これらの科学者は、彼らの研究の結果として、ワクチンの安全性を高めるために、ワクチン製品の中に、全く新しい“質コントロール”（標準となる成分）が必要になったと言っている。

にもかかわらず、臨床研究の結果を公表すると同時に、ガッティとモンタナリは、激しい論争のある、義務的なワクチン接種法を広めてきた、イタリア政府の注意を引きつけていた。

ある裁判官は、科学的な忠告を受け入れるのでなく、警官を買収して、科学者たちの自宅を襲わせ、彼らの調査研究に関係するすべての証拠を押収させた。

イタリア連邦政府は、つい最近、新しい、義務的ワクチン接種国家法を提案する前に、10 億ドル以上のカネを、ビッグファーマから受け取った。これは、たとえ高い尊敬を受けている

科学者でも、ワクチンに含まれる脅威と危険を臨床的に確認したりすることは、許されないということのようだ。

53 回のワクチンを受けることが、いまや、イタリアの子供には強制されることになり、その接種を受けていない子供たちは、学校へ行くこともできず、両親から引き離されることもある。

### 要約から：

この全く新しい調査の結果は、ワクチンのサンプルの中に、無機合成物からなる、微小な、ナノサイズの物質が存在することを示しており、それは含有要素の中には明記されておらず、そのあつてはならない存在は、当面の間、説明不能である。

これらの汚染微粒子のかなりの部分は、現在のところ、他のマトリックスで確認されており、文献では、生分解性ももたず、生命適合性もない。

集められた証拠は、議論されても、急速に放棄される病気と関係するような、いくつかの仮説を匂わせる。

イタリアは、ビッグファーマの巨大資金によって腐敗させられた、イタリア政府によって実施されるワクチン接種実験の、指導的先端にある。

製薬会社に新しい法の制定を任せ、彼らの決める全項目を、全国民に対して彼らに強制させることによって、イタリア政府は、その人民を裏切った。

何百万ものイタリア民衆が、この苛酷な、強制のワクチン接種法を、個人的にパスする権利さえ取り上げようとする政府に対して、蜂起している。

彼らは自分たちの子供が、今や、ビッグファーマのカネを紡ぎだす実験の一部になるように、要求されていることに苦しんでいる。

彼らは、個人の尊厳が、企業のために、ないがしろにされることに嫌気がさしている。

全国の重要な都市の通りが、デモで盛り上がり、一方、政府と彼らの主流メディア・宣伝局は、必死になって、出来事のスケールを軽く見ようとしている。

——以上